



平成28年11月10日

各 位

会 社 名 アンドール株式会社  
代表者名 代表取締役社長 和田 良明  
(コード：4640東証JASDAQ)  
問合せ先 管理部長 田中 定行  
(TEL. 03-3243-1711)

**「平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、平成28年11月8日付「当年度および過年度に係る決算短信の一部訂正に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、当年度および過年度の決算短信等の訂正が完了いたしましたのでお知らせいたします。  
なお、訂正個所が多数に及ぶため、訂正後および訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正個所には\_\_\_\_を付して表示しております。

以 上



(訂正後)

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)笹淵裕司  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)西脇博久 TEL 03-3243-1711  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	764	18.2	83	11.0	103	8.5	66	0.4
26年3月期第1四半期	647	9.9	75	6.6	95	7.0	66	18.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 79百万円(8.9%) 26年3月期第1四半期 73百万円(121.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	12.89	—
26年3月期第1四半期	12.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,227	1,525	68.5
26年3月期	2,209	1,461	66.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,525百万円 26年3月期 1,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	7.1	150	4.9	170	1.5	115	3.9	22.21
通期	3,000	8.0	320	4.3	340	4.9	210	0.3	40.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	5,184,140株	26年3月期	5,184,140株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	6,244株	26年3月期	6,244株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	5,177,896株	26年3月期1Q	5,178,844株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動を受けつつも、政府による経済・金融政策の効果が下支えし、総じて穏やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションシステムで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しています。

当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高は764,979千円（前年同期比18.2%増）となり、営業利益が83,280千円（前年同期比11.0%増）、経常利益は103,287千円（前年同期比8.5%増）となりました。

法人税、住民税及び事業税19,122千円、法人税等調整額17,430千円を計上し、四半期純利益は66,734千円（前年同期比0.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようになっております。

#### I プロダクツ事業

自社の開発製品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER FX II」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元統合CADシステム「CADSUPER Works」、「シンククライアントCADシステム」に対応した製品等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努める営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、自社製品売上高に影響があったものの、カスタマーサポートサービスの充実、3Dプリンタを始めとした新商材の売上高が寄与したことに伴い、この事業の売上高は192,371千円（前年同期比19.2%増）となり、営業利益は61,933千円（前年同期比5.9%増）となりました。

#### II エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり豊富な実務経験を持った技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスやCADとソフトウェアの技術の利点を生かしての総合エンジニアリングサービスを行っております。

メーカー系の顧客層の設備投資が堅調であった影響等により、この事業の売上高は566,865千円（前年同期比18.1%増）となり、営業利益は19,033千円（前年同期比44.8%増）となりました。

#### III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

この事業の売上高は5,742千円（前年同期比8.0%減）となり、営業利益は2,313千円（前年同期比32.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少（668,999千円から655,653千円へ）13,346千円、預け金の減少（111,894千円から108,959千円へ）2,934千円、繰延税金資産（流動資産）の減少（25,814千円から11,771千円へ）14,043千円、ソフトウェアの減少（77,272千円から66,740千円へ）10,532千円等があったものの、受取手形及び売掛金の増加（522,490千円から527,587千円へ）5,097千円、仕掛品の増加（4,072千円から7,828千円へ）3,756千円、その他（流動資産）の増加（23,523千円から27,180千円へ）3,656千円、ソフトウェア仮勘定の増加（3,776千円から20,234千円へ）16,458千円、投資有価証券の増加（374,854千円から408,985千円へ）34,131千円等により、前連結会計年度末に比べ17,673千円増加の2,227,272千円となりました。

負債は、その他（流動負債）の増加（77,840千円から163,568千円へ）85,728千円、繰延税金負債（固定負債）の計上6,523千円等があったものの、支払手形及び買掛金の減少（159,894千円から131,084千円へ）28,810千円、1年内返済予定の長期借入金の減少（28,570千円から18,360千円へ）10,210千円、未払法人税等の減少（91,964千円から32,616千円へ）59,348千円、前受金の減少（72,161千円から62,209千円へ）9,952千円、賞与引当金の減少（46,069千円から24,336千円へ）21,732千円等により、前連結会計年度末に比べ46,599千円減少の701,529千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、その他有価証券評価差額金の増加（103,805千円から116,876千円へ）13,071千円、四半期純利益の計上66,734千円により、前連結会計年度末に比べ64,272千円増加の1,525,742千円となり、自己資本比率は68.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表いたしました平成26年3月期決算短信のとおりであります。  
当期の業績予想については、修正を行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	668,999	655,653
受取手形及び売掛金	522,490	527,587
有価証券	8,895	8,996
商品及び製品	200	200
仕掛品	4,072	7,828
貯蔵品	6,911	6,911
預け金	111,894	108,959
繰延税金資産	25,814	11,771
その他	23,523	27,180
流動資産合計	1,372,802	1,355,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	124,623	123,543
土地	189,346	189,346
その他（純額）	3,506	3,426
有形固定資産合計	317,476	316,315
無形固定資産		
のれん	10,385	7,789
ソフトウェア	77,272	66,740
ソフトウェア仮勘定	3,776	20,234
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	94,654	97,983
投資その他の資産		
投資有価証券	374,854	408,985
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	290	275
繰延税金資産	15,801	15,018
その他	41,518	41,403
貸倒引当金	△8,498	△8,498
投資その他の資産合計	424,664	457,882
固定資産合計	836,796	872,182
資産合計	2,209,598	2,227,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,894	131,084
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	28,570	18,360
未払法人税等	91,964	32,616
前受金	72,161	62,209
賞与引当金	46,069	24,336
その他	77,840	163,568
流動負債合計	506,501	462,175
固定負債		
長期借入金	88,750	85,000
役員退職慰労引当金	8,664	9,410
退職給付に係る負債	142,468	136,579
繰延税金負債	—	6,523
その他	1,744	1,840
固定負債合計	241,627	239,353
負債合計	748,128	701,529
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	857,663	908,864
自己株式	△1,888	△1,888
株主資本合計	1,357,664	1,408,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,805	116,876
その他の包括利益累計額合計	103,805	116,876
純資産合計	1,461,469	1,525,742
負債純資産合計	2,209,598	2,227,272



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	647,438	764,979
売上原価	466,806	570,489
売上総利益	180,632	194,490
販売費及び一般管理費	105,589	111,209
営業利益	75,042	83,280
営業外収益		
受取利息	136	123
受取配当金	1,859	2,694
固定資産賃貸料	195	351
持分法による投資利益	18,647	16,596
雑収入	67	788
営業外収益合計	20,905	20,553
営業外費用		
支払利息	704	473
雑損失	15	72
営業外費用合計	719	546
経常利益	95,228	103,287
特別利益		
投資有価証券売却益	5,590	—
特別利益合計	5,590	—
税金等調整前四半期純利益	100,819	103,287
法人税、住民税及び事業税	21,492	19,122
法人税等調整額	12,836	17,430
法人税等合計	34,328	36,552
少数株主損益調整前四半期純利益	66,490	66,734
四半期純利益	66,490	66,734

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,490	66,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,246	14,431
持分法適用会社に対する持分相当額	531	△1,359
その他の包括利益合計	6,777	13,071
四半期包括利益	73,268	79,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,268	79,806
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	161,326	479,871	6,240	647,438	647,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	161,326	479,871	6,240	647,438	647,438
セグメント利益	58,469	13,142	3,431	75,042	75,042

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	192,371	566,865	5,742	764,979	764,979
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	192,371	566,865	5,742	764,979	764,979
セグメント利益	61,933	19,033	2,313	83,280	83,280

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。



(訂正前)

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)笹淵裕司  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)西脇博久 TEL 03-3243-1711  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	764	18.2	83	11.0	103	8.5	66	0.4
26年3月期第1四半期	647	9.9	75	6.6	95	7.0	66	18.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 79百万円(8.9%) 26年3月期第1四半期 73百万円(121.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	12.89	—
26年3月期第1四半期	12.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,227	1,538	69.1
26年3月期	2,209	1,474	66.7

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,538百万円 26年3月期 1,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	7.1	150	4.9	170	1.5	115	3.9	22.21
通期	3,000	8.0	320	4.3	340	4.9	210	0.3	40.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	5,184,140株	26年3月期	5,184,140株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	6,244株	26年3月期	6,244株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	5,177,896株	26年3月期1Q	5,178,844株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動を受けつつも、政府による経済・金融政策の効果が下支えし、総じて穏やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションシステムで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しています。

当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高は764,979千円（前年同期比18.2%増）となり、営業利益が83,280千円（前年同期比11.0%増）、経常利益は103,287千円（前年同期比8.5%増）となりました。

法人税、住民税及び事業税19,122千円、法人税等調整額17,430千円を計上し、四半期純利益は66,734千円（前年同期比0.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようになっております。

#### I プロダクツ事業

自社の開発製品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER FX II」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元統合CADシステム「CADSUPER Works」、「シンククライアントCADシステム」に対応した製品等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努める営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、自社製品売上高に影響があったものの、カスタマーサポートサービスの充実、3Dプリンタを始めとした新商材の売上高が寄与したことに伴い、この事業の売上高は192,371千円（前年同期比19.2%増）となり、営業利益は61,933千円（前年同期比5.9%増）となりました。

#### II エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり豊富な実務経験を持った技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスやCADとソフトウェアの技術の利点を生かしての総合エンジニアリングサービスを行っております。

メーカー系の顧客層の設備投資が堅調であった影響等により、この事業の売上高は566,865千円（前年同期比18.1%増）となり、営業利益は19,033千円（前年同期比44.8%増）となりました。

#### III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

この事業の売上高は5,742千円（前年同期比8.0%減）となり、営業利益は2,313千円（前年同期比32.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少（668,999千円から655,653千円へ）13,346千円、預け金の減少（111,894千円から108,959千円へ）2,934千円、繰延税金資産（流動資産）の減少（25,814千円から11,771千円へ）14,043千円、ソフトウェアの減少（77,272千円から66,740千円へ）10,532千円等があったものの、受取手形及び売掛金の増加（522,490千円から527,587千円へ）5,097千円、仕掛品の増加（4,072千円から7,828千円へ）3,756千円、その他（流動資産）の増加（23,523千円から27,180千円へ）3,656千円、ソフトウェア仮勘定の増加（3,776千円から20,234千円へ）16,458千円、投資有価証券の増加（374,854千円から408,985千円へ）34,131千円等により、前連結会計年度末に比べ17,673千円増加の2,227,272千円となりました。

負債は、その他（流動負債）の増加（77,840千円から163,568千円へ）85,728千円、繰延税金負債（固定負債）の計上6,523千円等があったものの、支払手形及び買掛金の減少（159,894千円から131,084千円へ）28,810千円、1年内返済予定の長期借入金の減少（28,570千円から18,360千円へ）10,210千円、未払法人税等の減少（79,316千円から19,967千円へ）59,348千円、前受金の減少（72,161千円から62,209千円へ）9,952千円、賞与引当金の減少（46,069千円から24,336千円へ）21,732千円等により、前連結会計年度末に比べ46,599千円減少の688,880千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、その他有価証券評価差額金の増加（103,805千円から116,876千円へ）13,071千円、四半期純利益の計上66,734千円により、前連結会計年度末に比べ64,272千円増加の1,538,391千円となり、自己資本比率は69.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表いたしました平成26年3月期決算短信のとおりであります。

当期の業績予想については、修正を行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。



4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	668,999	655,653
受取手形及び売掛金	522,490	527,587
有価証券	8,895	8,996
商品及び製品	200	200
仕掛品	4,072	7,828
貯蔵品	6,911	6,911
預け金	111,894	108,959
繰延税金資産	25,814	11,771
その他	23,523	27,180
流動資産合計	1,372,802	1,355,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	124,623	123,543
土地	189,346	189,346
その他（純額）	3,506	3,426
有形固定資産合計	317,476	316,315
無形固定資産		
のれん	10,385	7,789
ソフトウェア	77,272	66,740
ソフトウェア仮勘定	3,776	20,234
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	94,654	97,983
投資その他の資産		
投資有価証券	374,854	408,985
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	290	275
繰延税金資産	15,801	15,018
その他	41,518	41,403
貸倒引当金	△8,498	△8,498
投資その他の資産合計	424,664	457,882
固定資産合計	836,796	872,182
資産合計	2,209,598	2,227,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,894	131,084
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	28,570	18,360
未払法人税等	79,316	19,967
前受金	72,161	62,209
賞与引当金	46,069	24,336
その他	77,840	163,568
流動負債合計	493,852	449,526
固定負債		
長期借入金	88,750	85,000
役員退職慰労引当金	8,664	9,410
退職給付に係る負債	142,468	136,579
繰延税金負債	—	6,523
その他	1,744	1,840
固定負債合計	241,627	239,353
負債合計	735,480	688,880
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	870,312	921,513
自己株式	△1,888	△1,888
株主資本合計	1,370,313	1,421,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,805	116,876
その他の包括利益累計額合計	103,805	116,876
純資産合計	1,474,118	1,538,391
負債純資産合計	2,209,598	2,227,272

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	647,438	764,979
売上原価	466,806	570,489
売上総利益	180,632	194,490
販売費及び一般管理費	105,589	111,209
営業利益	75,042	83,280
営業外収益		
受取利息	136	123
受取配当金	1,859	2,694
固定資産賃貸料	195	351
持分法による投資利益	18,647	16,596
雑収入	67	788
営業外収益合計	20,905	20,553
営業外費用		
支払利息	704	473
雑損失	15	72
営業外費用合計	719	546
経常利益	95,228	103,287
特別利益		
投資有価証券売却益	5,590	—
特別利益合計	5,590	—
税金等調整前四半期純利益	100,819	103,287
法人税、住民税及び事業税	21,484	19,122
法人税等調整額	12,836	17,430
法人税等合計	34,320	36,552
少数株主損益調整前四半期純利益	66,498	66,734
四半期純利益	66,498	66,734

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,498	66,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,246	14,431
持分法適用会社に対する持分相当額	531	△1,359
その他の包括利益合計	6,777	13,071
四半期包括利益	73,276	79,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,276	79,806
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	161,326	479,871	6,240	647,438	647,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	161,326	479,871	6,240	647,438	647,438
セグメント利益	58,469	13,142	3,431	75,042	75,042

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	192,371	566,865	5,742	764,979	764,979
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	192,371	566,865	5,742	764,979	764,979
セグメント利益	61,933	19,033	2,313	83,280	83,280

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。